

三中若鷺つうしん

平成30年5月9日
天童市立第三中学校
校長 阿部雄宏
☎654-2333 NO.14

創立49周年

校歌が歌われるとき

若葉の季節を迎え、学校全体が若返ったようです。本校で5月2日に行った創立記念式では、昭和45年の校歌披露式での作詞家真壁仁先生の話を紹介しました。

「歌は、私たちの心がふくらんだ時、あるいは私たちの精神が高められた時に歌われるというふうに思います。或は、逆に言えば私たちの心が、豊かになり、また精神が高

められた時に歌をうたいたくなるというふうに言えると思います。

私たちの生きる現代という社会は、たえず歌をうたってすごせる程、楽しい社会ではないように思えますし、また、これからの社会は一層きびしい、そして味気ない社会になる恐れもあると思えます。けれども、たえず、歌が口をついて出るような我々自身の、皆さんの生き方の中に本当に人間らしさを失わない生き方を、きっぱり強く確保していかなければならない、そんなふうに思います。

何よりも、私たちはそういう歌をうたえるような心の状態をくずさず、失わずに持っていくという生き方が大事だと思うのです。

心豊かに本当に感激高く、意気に燃えて生きるというようなことは難しい事ですが、歌を歌っているときのように高らかに、こういう事でようやく私達は、これからの困難な社会に生きる生き方の中に、人間らしさを保つことができるというふうに思います。皆さんの学校の校歌としては、在校中はもとより、卒業されたあとも愛唱していただくことができれば作詞家としての私も大変うれしいことです。どうぞ、みなさんの校歌をかわいがってくださることを心よりお願い申し上げます。(略)

いつも自分たちの校歌を高らかに歌う、そんな学校でありたいと思います。(校長)

◆写真は、記念式の後に行われた



生徒会スローガン「BEST」!!



全員参加の生徒会

生徒会長

スズキ

若葉の緑が目にしみる季節となりました。本日ここに、天童市立第三中学校の創立記念日を迎えることができたこと、心よりお喜び申し上げます。

四十九年という長い歴史を積み上げてきたこの天童三中には、誇れるものがたくさんあります。それらは皆、三中を卒業していかれた一万人を超える先輩方の知恵と努力の結晶であると思います。

「三中の誇り」と言われれば、まずは、全校生が一つとなつてつくりあげる充実感と感動の二大行事があります。また、毎年たくさんの方に出場し、さらにその上の東北大会や全国大会にまでいく人を輩出している部活動などが一番に思い浮かびます。今日行われる生徒会総会も、私達の生徒会活動の象徴であり、誇るべきものの一つだと思えます。三中がさらに良くなるようにという強い気持ちを持って、各クラスで長い時間をかけて真剣に話し合い練り上げた意見をぶつけ合う話し合いは、間違いなく三中の財産です。

日々の生活の中にも誇るべきもの、そして先輩方に感謝しなければならないものがあります。それは、「全校生が自転車通学を許可されている」と言うことです。今私達は自転車通学できることがあたり前のことと思いがちです。私達の部活動や勉強の時間を少しでも長くするようにという思いで、署名活動を行ってくださった地域の方や実現に向けて話し合いを重ねていただいた当時の先輩方、大変な苦労の上に今の自転車通学があるのです。自分たちのためにというよりは、後輩のため、後の世代の三中生のために力を尽くしてください。先輩方に私たちは感謝しなければなりません。と言っても、私たちは感謝の気持ちを直接伝えることはできません。私達がすべきことは、無事故・無違反で安全に通学することだと思えます。それが感謝の気持ちの表れであり、同時に自転車通学の伝統を守ることもなると思えます。

日常の生活の中に、また学校生活を彩る行事に、様々な場所に伝統が息づくこの天童三中は本当にすばらしい学校です。私達在校生は、これまでの伝統を大切にするとともに、これからの新しい時代に合った伝統を築いていく責任があります。現状を維持するのではなく、さらに上を目指して様々なことに挑戦し、この学校をもっと磨いていくことが大切だと思えます。

生徒会スローガンである「BEST」を実現するために、自分から積極的に、そして全員で様々な活動に取り組んで「全員参加の生徒会」にすることを誓います。そして、もっともっと居心地のよい学校にしていくことをお約束して、お祝いのことばといたします。